

令和7年度第2回勝間公民館運営審議会 議事録

- ・開催日時 令和7年12月5日（金） 午前10時～11時00分
- ・開催場所 勝間公民館 学習室
- ・出席者 国澤委員長 藤本委員 由川委員 藤井委員 中谷委員、阿部委員、野村委員、藤山委員
【公民館】森原館長 加藤社会教育指導員 白井主事補

◇議事◇

館長から始めの挨拶

1 委員長挨拶

2 協議

(1) 公民館事業の実施状況について

○第38回勝間地区文化祭における展示作品展・ステージ発表会について

(説明者：加藤社会教育指導員、白井主事補)

→ 今年度は、作品募集のちらしを地域に全戸配布したにもかかわらず、作品出品者は、前年度同様、同じ人が多かった。個人的に作品展示依頼をしたら、西勝間地区的自治会長さんが出品された。来年度から、個別の依頼に変えたい。文化祭への参加者は、大幅に増えた。（参加者は、470人）

○学級・教室について（説明者：加藤社会教育指導員）

→ にじいろくらぶは、今年度から、運営委員の方々の意見を取り入れながら、勝間小学校のPTAとの連携をこれまで以上に強化して、プログラムに反映したので、これまで以上に参加者が増えたし、充実した講座内容になっている。特に11月の「就学期子育て学習会」の内容・方法を座談会形式に変え、大変有意義であった。

→ 女性学級は、運営委員さんたちの熱意により、9月の「押絵の制作」については、作品づくりへの意気込みが感じられた。

→ 高齢者教室は、どんどん参加者が増えているし、11月の社会見学にみられるように、会員同士の助け合いや思いやりを感じられる場面を多く見かける。（車いすを必要とする方への気配り等）

【委員からの意見】

Q： ステージ発表を外から見たいが、カーテンが閉まっているので見れない。何とかならないか？

A： 文化祭の反省時にも、同様の意見が出たが、カーテンを閉めているのは、中で演技をされる方に対する配慮である。外で、活動しておられる方にも見れるようにするには、外にモニター等を置いて、見れるようにする方法を考えたい。ただし、集会室にある大型テレビは、出入り口から出せないので、出せるように解体する必要があることと、中で演技をする方々にモニターで映し出すことの了解をとる必要がある。

来年の主演者たちへの打ち合わせ会議等で、話題に出して、了解を取りたい。

○市民教養講座（説明者：白井主事補）→ 今年度は、後期に人数が減っている。5名減。

○登録サークル（説明者：白井主事補）

→ 全体で、4月当初に比べて、参加者が14名の増となっている。

→ 「防府かるた会」が途中設置申請が出たので、審議してほしい。

Q： 会員の中に中学生がいるサークル活動が、夜間開催となっているが、安全面とかを考慮して、公民館が開催して、大丈夫だろうか？

A： 地域移行部活動についても、公民館に現在存在するサークルへの参加を促す動きがある。公民館にあるサークル活動は、夜間に開催するものも多い。基本的に、学校外の活動であるから、そこへの参加希望は、保護者の了解を得ているものと理解する。

家庭教育の範疇で、考える問題である。

資料に基づき実施状況や参加人数について説明をして、委員からの意見を受け、今後の運営に反映させることで、了承を受けた。

○令和7年度予算執行状況（12月現在）について（説明者：白井主事補）

【委員からの意見】

Q： 特になし。

→ 公民館事業実施予算執行・市民教養講座会計・サークル会計の予算執行状況を説明し、委員から了承を受けた。

(2) 令和8年度開設予定の市民教養講座について

来年度は、13講座の申し込みがある。その中でも、今年度は、「歪みリセット体操「カキラ」」は、すでに毎月第3月曜日開催だったが、来年度は、第2・4木曜日に追加で開設希望が出ている。また、新たに「唱歌を歌いながらヴォイストレーニング」の講座の希望がある。令和8年2月1日号の市広報に掲載され、募集は3月31日締め切り。

募集人員に満たなかった講座について例年、サークルとして認可していただいている。承認は、次年度第一回運営審議会にて行う。

3 その他 報告事項について

○ 「国府ふるさとネット」について

「国府ふるさとネット」は設立されて、13年経過する。設立の趣旨が、今まで、継続されて、理解されているか疑問である。昨年度初めて開催した「佐波みちざねっと」と「国府ふるさとネット」の合同協議会についての意義、今後の活動の大切さ、学校支援活動の状況、地域の活動への参画の意義等について説明をした。

○情報交換

・自治会連合会

文化祭の時に使用した拡声器等は、市の「頑張る地域応援プログラム」で購入したものである。活用してほしい。来年度以降も、必要な物品等があれば、知らせてほしい。

・国府中学校近況報告

「国府ふるさとネット」の目標：

「ふるさとを愛しふるさとから愛される豊かな子ども」の姿を卒業時の生徒にもたせたい。もうすぐ、国府中の恒例行事である、地域一斉清掃への参加がある。清掃活動から帰ってきた子どもたちの表情が大変豊かで、見ていてうれしくなる。

・勝間小学校近況報告

勝間小学校は、今年、創立70周年である。先週実施した「土曜参観日」には、恒例の5年生による「勝間の浦人」の演劇が披露された。この演劇は、40年間継続されたものである。「勝間の誇り」である。それを記念したビブスを作成し、挨拶運動等で着用している。(子どもが考えたデザインを採用している。)

・明るい勝間づくり推進協議会の近況報告

令和8年1月10日 勝間地区の新年会を予定している。

〃 1月11日 局の内のどんど焼きを予定している。

・食生活改善推進協議会の近況報告

市全体で「郷土料理づくり」に取り組んでいる。最近の若いお母さんや高齢者は、料理離れが進んでいる。家庭に調理道具を置いていない家も増えているということを聞く。

今年度は、久しぶりに地区の文化祭で「ラスク」販売を行った。完売であったが、設置にいたる過程で、行き違いが多く、来年度は参加を考えたい。

- ・高齢者教室の運営については、順調である。大変、多くの方が楽しく活動している。
- ・学級・教室の代表として、公民館で活動しておられる人たちが、楽しく活動されているをうれしく思っている。個人的には、新しいことへの挑戦も考えていきたいが、新しいことへの挑戦があることを躊躇する方々もおられるので、一緒にチャレンジしていくようにお誘いしたい。

また、自分が散歩しているときに、子どもたちが積極的に挨拶をしてくれる。最近は、相対的に挨拶はよくできているように感じる。

・老人クラブ、社会福祉協議会の近況報告

最近は、老人クラブの会員数やクラブ数が減少している。勝間地区には、老人クラブが5つ存在している。令和8年1月18日（日）三世代交流事業を実施予定。

小学校との「昔の遊び」等の行事については、担当者と話をしている。積極的に参加したい意向がある。

○第3回勝間公民館運営審議会

令和8年3月4日（水）10：00～11：30を予定している。

館長から終わりの挨拶

上記のとおり、令和7年度第2回勝間公民館運営審議会の報告をいたします。

令和7年12月5日 勝間公民館長 森原 清